



証券コード:3501

## 第134期 中間報告書

2022年6月1日 ▶ 2022年11月30日

# SUMINOE REPORT

### CONTENTS

トップメッセージ	1
ハイライト	3
連結財務諸表	4
事業概況	5
トピックス	7
ガバナンス	9
株式情報	10



住江織物株式会社

Suminoe Textile Co., Ltd.

## トップメッセージ



「SUMINOE GROUP」一体となって  
企業価値の最大化に取り組みます。

代表取締役社長  
永田 鉄平

## 当第2四半期の業績

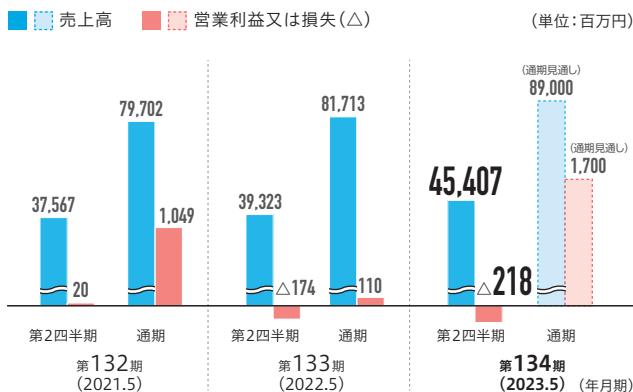
当第2四半期における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に波はあるものの、行動制限の緩和などにより社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな持ち直しの動きが続きました。一方、中国でのロックダウンによるサプライチェーンの混乱、半導体・部品供給不足や原材料価格の高騰、急激な為替変動などにより、先行きは依然として不透明な状況にあります。そうしたなか当第2四半期における連結業績は、売上高454億7百万円(前年同期比15.5%増)、営業損失2億18百万円(前年同期 営業損失1億74百万円)、

経常利益1億48百万円(同74.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失6億87百万円(同 親会社株主に帰属する四半期純利益48百万円)となりました。インテリア事業では、業務用カーペットで大型物件を受注したほか、壁装関連が価格改定の効果などから堅調に推移しました。自動車・車両内装事業は、国内の自動車関連売上が半導体や部品供給不足の状況緩和により堅調に推移し、海外も為替の影響があったことなどから、連結売上高が増加しました。利益面では、自動車内装事業において原材料・エネルギー価格・物流費の高騰や中国拠点における減収が影響し、減益となりました。

## 通期の見通し

上期の売上高は2022年7月15日付の連結業績予想を上回ったものの、利益面では前述した内容に加え、日系自動車メーカーの生産台数減少による減収の影響および2022年12月21日付でお知らせしました固定資産の譲渡に伴う当該土地に付随する建物、構築物等の有形固定資産の減損損失を計上したことなどから、下回る結果となりました。通期の見通しにつきましては、原材料・エネルギー価格高騰分を販売価格へ転嫁した効果が表れることなどから、当初の連結業績予想どおり、売上高890億円、営業利益17億円、経常利益18億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億円を見込んでおります。達成に向けて、下期も各事業に邁進してまいります。当期の配当金につきましては、中間は1株当たり35円とさせていただきます。期末配当金も35円とし、年間で70円とさせていただきます予定です。

## 連結数値の推移

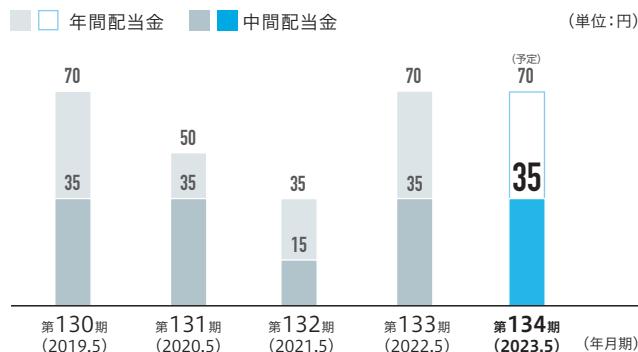


## 企業ブランディングの取り組み

SUMINOE GROUPは2023年に創業140周年を迎えます。1883年の創業以降、積極的に事業を拡大し、現在では住江織物を含めて国内17社、海外7カ国13社(14拠点)のグループとなりました。昨年新しくグループに加わった2社も一体となってSUMINOE GROUPとしてのシナジー効果を発揮できるよう「シン・ミライPROJECT」を立ち上げ、改めて当社グループの価値を抽出し、「会社の持続的な成長」と「社員の幸せの実現」から当社グループのパーパス(会社の存在意義)について検討を進めています。

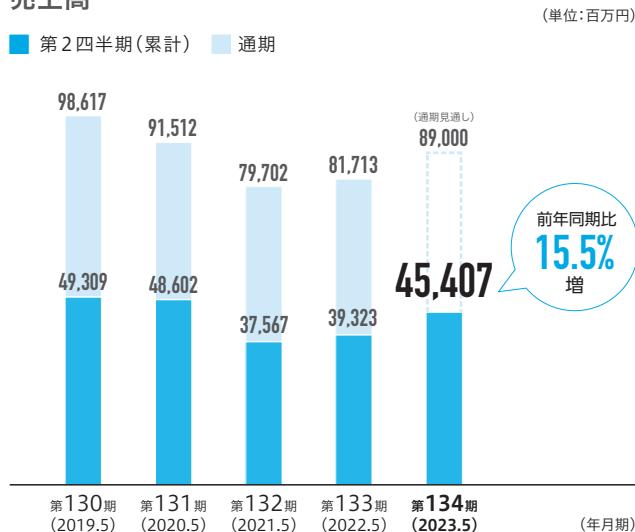
これまでに培ってきた伝統とこれからの切り拓いていく新たな力を融合し、「SUMINOE GROUP」の総合力をもって企業価値の最大化を目指してまいります。株主のみみなさまには、今度とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 配当金

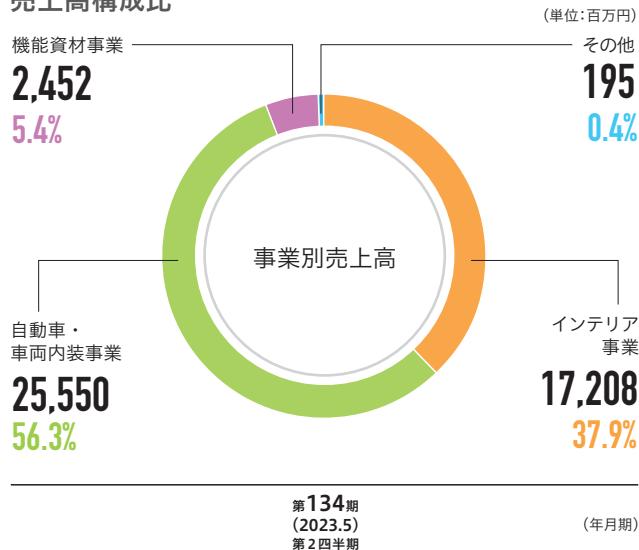


## ハイライト

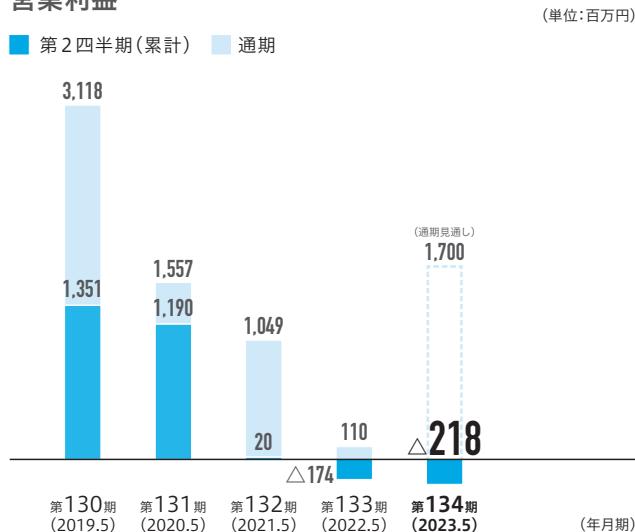
## 売上高



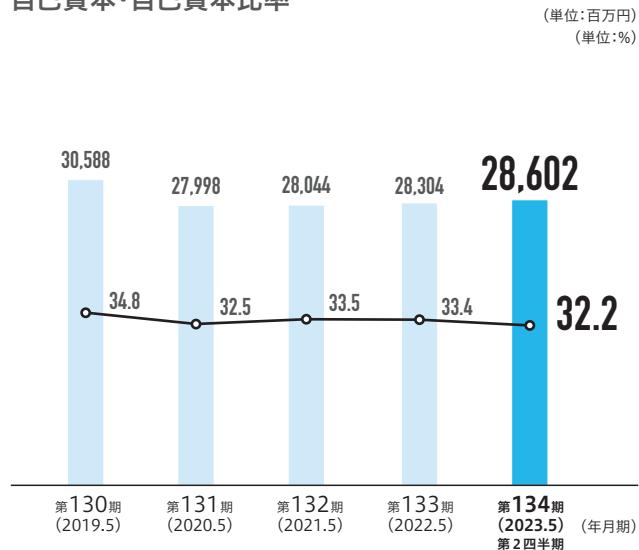
## 売上高構成比



## 営業利益



## 自己資本・自己資本比率



## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前 期 2022年5月31日現在	当第2四半期 2022年11月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	46,749	<b>49,392</b>
現金及び預金	8,150	7,125
受取手形、売掛金及び契約資産	13,816	16,111
電子記録債権	6,171	6,998
棚卸資産	15,621	16,545
その他の資産	2,989	2,611
固定資産	38,051	<b>39,443</b>
資産合計	84,801	<b>88,836</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	35,046	<b>37,246</b>
固定負債	16,306	<b>17,655</b>
負債合計	51,352	<b>54,902</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	19,711	<b>18,823</b>
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,626	2,611
利益剰余金	11,480	10,571
自己株式	△ 3,949	△ 3,913
その他の包括利益累計額	8,593	<b>9,779</b>
非支配株主持分	5,144	<b>5,332</b>
純資産合計	33,448	<b>33,934</b>
負債純資産合計	84,801	<b>88,836</b>

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 2021年 6月 1日から 2021年11月30日まで	当第2四半期 2022年 6月 1日から 2022年11月30日まで
売上高	39,323	<b>45,407</b>
売上原価	31,251	36,556
売上総利益	8,071	<b>8,851</b>
販売費及び一般管理費	8,246	9,069
営業損失(△)	△ 174	△ <b>218</b>
営業外収益	899	586
営業外費用	131	218
経常利益	593	<b>148</b>
特別利益	92	9
特別損失	72	197
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	612	△ <b>39</b>
法人税等合計	370	454
四半期純利益又は四半期純損失(△)	241	△ <b>493</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	193	193
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	48	△ <b>687</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

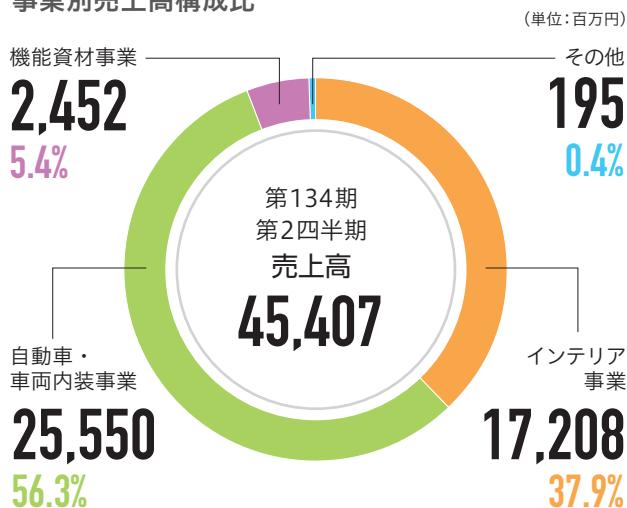
(単位:百万円)

科目	前第2四半期 2021年 6月 1日から 2021年11月30日まで	当第2四半期 2022年 6月 1日から 2022年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 960	△ <b>211</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,961	△ <b>2,170</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,588	<b>1,202</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	<b>183</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 4,472	△ <b>995</b>
現金及び現金同等物の期首残高	10,756	<b>7,970</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,283	<b>6,975</b>

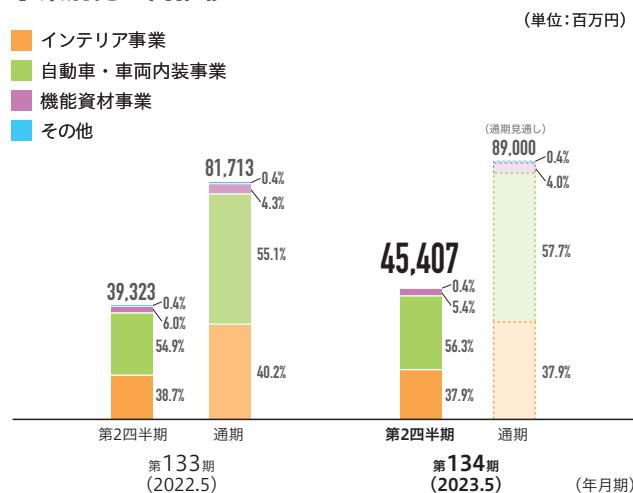
## 事業概況

セグメント別の概況をご報告申し上げます。

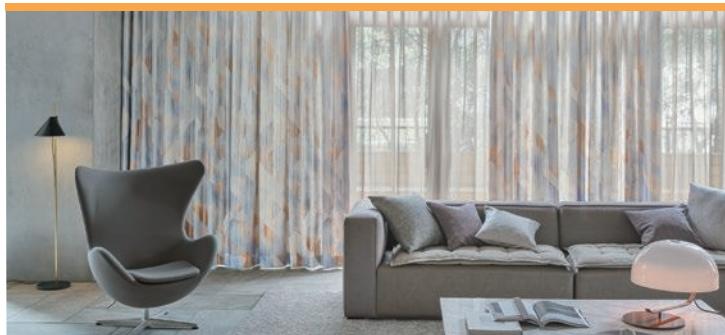
### 事業別売上高構成比



### 事業別売上高推移



## インテリア事業



## 自動車・車両内装事業



## 機能資材事業

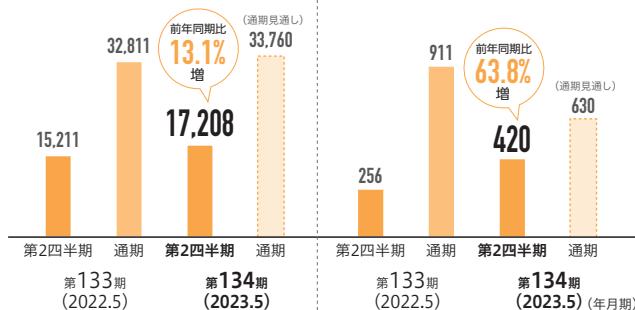


## 売上高 (単位:百万円)

## セグメント利益 (単位:百万円)

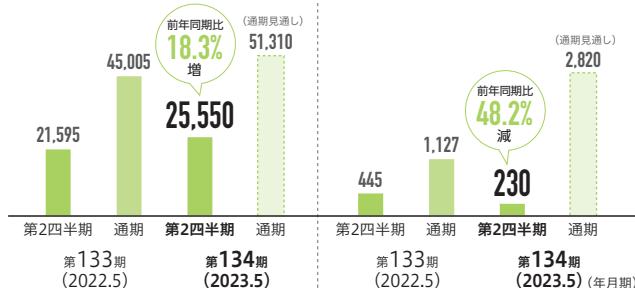
## 当第2四半期の業績

## 通期について



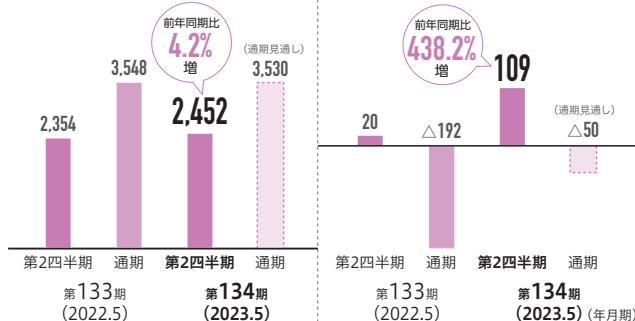
家庭用カーペットがコロナ禍での需要の反動で伸び悩んだ一方、業務用カーペットでは大型物件を受注し、壁装関連は価格改定の効果があり、売上は増加しました。スペース デザイン ビジネスではインテリア事業の領域拡大を着実に推し進めました。

上期に引き続き、原材料価格が高騰するなかで適正価格での取引を進めるとともに、環境対応型製品や新見本帳「mode Sカーテン Vol. 10」の販売強化と、スペース デザイン ビジネスでは、空間全体の設計・デザインの受注拡大を推進します。



売上は、自動車の国内生産が回復傾向に転じ、海外も東南アジアを中心に堅調に推移したほか、為替も寄与しました。車両関連全体の売上も増加しましたが、利益面は、原材料やエネルギー価格および物流費の高騰、また中国拠点での減収が影響しました。

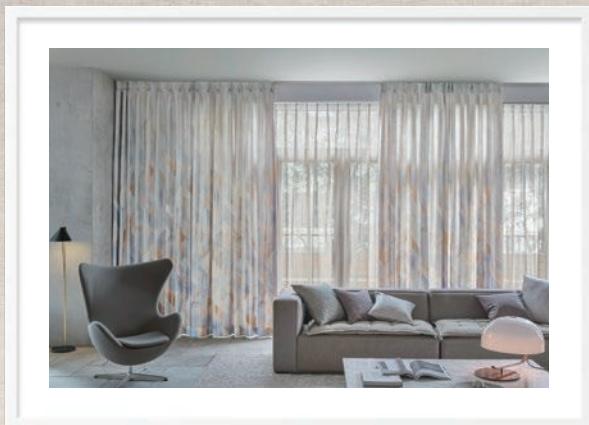
自動車関連は、メーカーの増産に対応できる体制を整えながら、非繊維商材の合成皮革や加飾事業などの付加価値の高い内装材の開発に取り組みます。車両関連も商材の高機能化に努め、M&Aによる販路拡大を活かしさらなる受注を目指します。



繊維系暖房商材は、受注数が減少したものの納入時期の前倒しがあったほか、冷蔵庫用フィルターや浴室床材が堅調に推移し、売上は増加しました。利益面では、中国およびベトナムの工場再編が完了したことなどから、前年同期を上回りました。

ホットカーペットをはじめとする繊維系暖房商材では、次期生産に向けた準備および新規開発を進めます。その他事業においても、高付加価値の製品開発に取り組み、新規提案を行っていくことで、機能資材事業全体の利益確保を目指します。

## トピックス



## インテリア事業

## 「mode S(モードエス)カーテン Vol. 10」を発売

『BLUR“ブラー”(境界をぼかす/曖昧にする)』がデザインテーマのカーテン見本帳「mode Sカーテン Vol. 10」を発売しました。室内と外に繋がりを持たせるデザインで、自然からインスパイアされたニュアンスのあるカラーやテクスチャ表現を強化し、空間に溶け込む優しさを演出する『SOFT ELEGANT』をプラスした彩りを与えるコレクションです。

大型窓など特別な大空間向けの『Dynamic Series』、繊維のしなやかさを活かし、風合いが良くドレープ性に優れた『Drapeable Series』など、全品防災で526アイテムを展開しています。『Coordination』では人気のインテリアや憧れのスタイルなどを、リビング・寝室・個室ごとに全27パターン紹介しています。

## 自動車・車両内装事業

## Honda「ZR-V」に当社の内装材が採用

当社の製品が、本田技研工業の新型車「ZR-V」のシートメイン材に採用されました。「ZR-V」は質感高く高精度に整えたプロポーション、優れた実用性と艶やかな色気が宿る仕立てを謳っており、凛々しくも力強い存在感を放つSUVです。

シートのアクセントとして刺繍箇所の裏地部分にニードルパンチ不織布を貼り付け、裏からのへこみを抑えることで従来不可能だった厚みの刺繍を可能とした当社初となる加飾技術「点吊刺繍織物」がハイブリッドグレードに使用され、細部まで美しく心を満たすというインテリアデザインテーマの一翼を担っています。

シートファブリックの加飾事業を強化することは今後の重要戦略の一つであり、上質な室内空間を提供できるよう開発を進めていきます。





## 自動車・車両内装事業

### 東海旅客鉄道新型特急車両 特急ひだ「HC85系」に当社の内装材が採用

東海旅客鉄道は2022年7月1日より高山本線にて、新型ハイブリッド方式の特急車両、特急ひだ「HC85系」の運転を開始しました。デッキスペースには、「ナノミュージアム」として沿線地域の伝統工芸品を鑑賞できるスペースが設けられており、バリアフリー設備には2022年に改正された新基準をふまえ、居心地の良い車内空間を実現しています。

グリーン車の座席の色彩は、沿線の新緑や美しい川・夕暮れの紫の空を、普通車の座席の色彩は沿線の紅葉や祭り・花火をそれぞれグラデーションで表現しており、座席のモケットには再生糸を使用しました。シートクッション材には安全性に優れた「スミキューブ®」が、そしてカーテン、カーペットにも当社の製品が採用されています。



## 全社

### 住江織物グループ統合報告書2022の発行

株主様、投資家様をはじめとする幅広いステークホルダーのみなさまに向けた当社グループ初の統合報告書を、2022年11月29日に発行しました。本報告書では、SUMINOE GROUPの持続的な成長に向けた経営戦略や業績などの「財務情報」と、サステナビリティやESGに関する具体的な取り組みなどの「非財務情報」を、総合的に報告することで、当社グループへの理解を深めていただくことを目的としています。

今回は、中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」に基づく成長戦略やESGへの取り組みについて報告しています。住江織物ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



(<https://suminoe.co.jp/csr/report/>)



## ガバナンス

役員 (2022年11月30日現在)



永田 鉄平  
代表取締役社長



薄木 宏明  
代表取締役常務※



丸山 敏朗  
取締役※



木村 栄一郎  
取締役※



村瀬 典久  
取締役※



市川 清一  
常勤監査役



清水 春生  
社外取締役



野村 公平  
社外取締役



牧野 考一  
社外取締役



種田 ゆみこ  
社外取締役



園田 篤弘  
社外監査役



片山 貴文  
社外監査役

### 執行役員

上席執行役員 諏訪 和 晃  
上席執行役員 吉澤 朋 宏  
上席執行役員 瀬戸 貞 弘  
上席執行役員 河合 勝 也

執行役員 駒形 淳 一  
執行役員 関口 修 一  
執行役員 福岡 正 也  
執行役員 川西 浩 文

執行役員 眞田 尚 志  
執行役員 高島 順 浩  
執行役員 松波 浩 浩

※の取締役は上席執行役員を兼務します。

## 株式情報

## 株式の状況 (2022年11月30日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	7,682,162株
株主数	7,283名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社高島屋	924	14.58
日本生命保険相互会社	476	7.52
丸紅株式会社	366	5.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	330	5.21
林テレンプホールディングス株式会社	233	3.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	178	2.82
住江織物従業員持株会	159	2.52
S M B C 日興証券株式会社	157	2.48
住江織物共栄会	154	2.44
東レ株式会社	129	2.05

- ※ 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。  
 2. 当社は自己株式(1,338,317株)を保有していますが、上記大株主からは除いています。  
 また、持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

## 本報告書、株式に関するお問合せ先

住江織物株式会社 本社総務部

TEL : 06-6251-6801 FAX : 06-6251-0862

## 株主メモ

決算日	5月31日
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年5月31日 中間配当 毎年11月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 当社ホームページをご覧ください。 <a href="https://suminoe.co.jp/ir/">https://suminoe.co.jp/ir/</a>

## みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話 0120-288-324(フリーダイヤル)  
 URL <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>  
 郵送物送付先 〒168-8507  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

## 証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社	
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

## 特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座 管理機関	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

※ 未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店でお取り扱いいたします。

## 会社情報

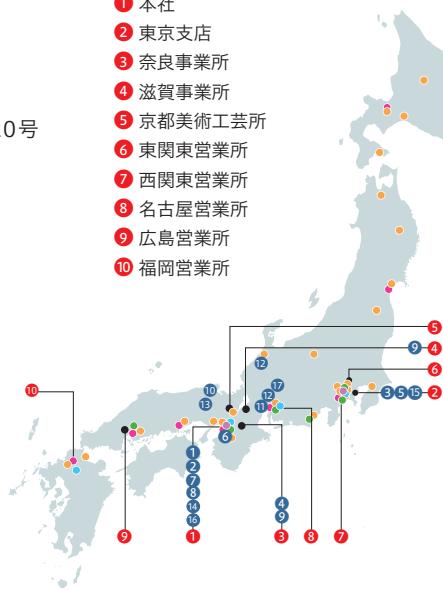
## 会社概要 (2022年11月30日現在)

会社名	住江織物株式会社 Suminoe Textile Co., Ltd.
URL	<a href="https://suminoe.co.jp/">https://suminoe.co.jp/</a>
本社所在地	〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号 TEL:06-6251-6801
創業	1883年(明治16年)
合資会社創立	1913年(大正2年12月25日)
株式会社設立	1930年(昭和5年12月26日)
資本金	95億5千4百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	252名(連結2,650名)

## 国内グループ会社

## 住江織物(株)の事業所

- ① 本社
- ② 東京支店
- ③ 奈良事業所
- ④ 滋賀事業所
- ⑤ 京都美術工芸所
- ⑥ 東関東営業所
- ⑦ 西関東営業所
- ⑧ 名古屋営業所
- ⑨ 広島営業所
- ⑩ 福岡営業所



## グループ会社

- ① 住江織物(株)
- ② (株)スミノエ
- ③ ルノン(株)
- ④ 住江物流(株)
- ⑤ (株)スミノエワークス
- ⑥ 関西ラボラトリー(株)
- ⑦ スミノエティジンテクノ(株)
- ⑧ 丸中装栄(株)
- ⑨ 住江テクノ(株)
- ⑩ 丹後テクスタイル(株)
- ⑪ 帝人テクロス(株)
- ⑫ 尾張整染(株)
- ⑬ (株)ソーイング兵庫
- ⑭ インテック(株)
- ⑮ (株)シーピーオー
- ⑯ (株)プレテリアテキスタイル
- ⑰ 関織物(株)

## 各事業の営業拠点

- インテリア
- 自動車内装
- 車両内装
- 機能資材
- S・I・P(ショールーム)

## 海外グループ会社

- ① Suminoe Textile of America Corporation
- ② Suminoe Textile of America Corporation (C.A. Design)
- ③ Bondtex, Inc.
- ④ Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
- ⑤ 住江互太(広州)汽車纖維製品有限公司
- ⑥ 蘇州住江小出汽車用品有限公司
- ⑦ 住江織物商貿(上海)有限公司
- ⑧ 蘇州住江織物有限公司
- ⑨ T.C.H. Suminoe Co., Ltd.
- ⑩ Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
- ⑪ PT. Suminoe Surya Techno
- ⑫ PT. Sinar Suminoe Indonesia
- ⑬ Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Ltd.
- ⑭ Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.

